

にしはらんきょうほぜんかつどうそしき

西原環境保全活動組織（中川村）

・組織の活動面積	A=	32.4	ha
・組織の構成員数	約	89	人

組織形態	農地維持 ■	資源向上(共同) ■	資源向上(長寿命化) ■
取組開始年度	平成26年～	平成26年～	平成26年～

構成員 梨・りんご果樹生産農家、ぶどう栽培農家、個人耕作農家、赤そば組合及び地域住民

組織の概要及び特徴

- ・村の西方、松川町に接する位置にあり、JR飯田線が横断。昭和53年から、梨、りんごの団地25ヘクタールに、軌道東をぶどう団地4ヘクタール、普通畑5ヘクタールに整備。
- ・組織は、りんご、梨、ぶどう栽培農家と赤そば組合及び地域の住民から構成されている。
- ・果樹組合農家と畑耕作個別農家、そば栽培を中心にした組合が連携しながら、生産に励み、土地条件を生かした「西原将来プラン」を作り持続的農地利用をすすめている。

遊休農地を出さずに、農業生産を続ける。

- 1 役員が年度末に、次年度の施設巡視を行い、施設の修繕箇所等を決定します。
- 2 赤そば組合が中心になって、9月15日頃～10月初旬にかけて「赤そば祭り」の準備を進めます。
- 3 中学生と村民ボランティアによる「そばは種」を毎年行い、組合員による、遊歩道への木チップ敷き、園内の草刈り等を行います。



中学生ボランティアによる、赤そばのは種



3月施設の点検、農地の見回り、事業計画化



園草刈り・遊歩道に木チップ敷き均し作業

例年、9月中旬に行われる赤そば祭り開会セレモニーの様子。農業イベントとして定着しています。2ヘクタールの園内は赤く染まり見事な景観に。南駒ヶ岳、赤いじゅうたんを背景に走る電車など、フォトコンテスト、花摘みなどが行われます。

